
れいわ ねんど ねんど
令和8年度(2026年度)

がいこくじんりゅうがくせいし けんようこう
外国人留学生試験要項



商学部

法学部

現代教養学部

建学の精神：公正な社会観と倫理観の涵養

教育の理念：少数教育を通じて公正な社会観と倫理観を涵養し、人権感覚や共生意識を育む
ことにより、複雑化する現代社会を生き抜くための実力と創造力を備え、
社会に貢献できる有能な人材を育成する

目 次

1. 募集人員および日程、出願における注意事項	1
2. 試験当日の注意事項、学費等	2
3. 出願から入学手続までの流れ(Web出願、受験票、入学手続)	4
4. 1期	7
5. 2期	8
6. 指定校	9
7. 編入学	10
8. 教育理念と3つのポリシー (本学の建学の精神、教育の理念は表紙に記載)	11

共通事項

■ 募集人員および日程（国内実施）

試験区分および募集方法	募集人員			出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
	商学部 商学科	法学部 法学科	現代教養学部 現代教養学科				
1期	5名	若干名	若干名	11月24日(月)～12月5日(金)	12月13日(土)	12月16日(火)	12月16日(火)～12月24日(水)
2期	5名	若干名	若干名	1月20日(火)～2月6日(金)	2月14日(土)	2月17日(火)	2月17日(火)～2月27日(金)
指定校1期	若干名	若干名	若干名	9月22日(月)～10月2日(木)	10月11日(土)	11月1日(土)	11月1日(土)～11月14日(金)
指定校2期	若干名	若干名	若干名	11月24日(月)～12月5日(金)	12月13日(土)	12月16日(火)	12月16日(火)～12月24日(水)
指定校3期	若干名	若干名	若干名	1月20日(火)～2月6日(金)	2月14日(土)	2月17日(火)	2月17日(火)～2月27日(金)
編入学試験	若干名	若干名	若干名	11月24日(月)～12月4日(木)	12月13日(土)	12月16日(火)	12月16日(火)～12月24日(水)

※ 選抜日程・選考方法等については変更する場合があります。その際は、本学ホームページを通じてお知らせいたします。

■ 入学時期

令和8年4月

■ 試験会場

中央学院大学（試験はすべて本学において実施します）

所在地 〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451

（連絡先）中央学院大学 入試広報部 TEL. 04-7183-6516 <直通>

交通機関 <電車の場合>

JR 常磐線、JR成田線、東京メトロ千代田線直通「我孫子」駅下車

北口より無料スクールバスにて約7分、または徒歩約20分

（試験当日は特別ダイヤで運行します。1週間前を目安に本学ホームページの交通案内をご確認ください。）

■ 出願における注意事項

(1) 出願期間内にWeb出願サイトで登録を済ませ、出願書類を受付窓口持参してください。

※Webからの出願登録および検定料の支払いは出願期間最終日15時までです。

(2) 出願は受験生本人による窓口受付のみとなります。代理人による出願は認めません。

(3) 窓口受付について

提出窓口：中央学院大学 入試広報部（本館2階）

受付時間：平日10時から16時（土曜日、日曜日、祝日は受け付けません）

(4) 提出された出願書類や納入された入学検定料は、返還いたしません。

(5) 出願後の学部やコースの変更は認めません。

(6) 1期および2期では2学部まで併願することができます（3学部を併願することはできません）。

■ 試験当日の注意事項

- (1) 集合時刻・場所等の詳細については、受験票にてご確認ください。
- (2) 試験会場の開門は集合時刻1時間前、試験室への入室は集合時刻30分前からとします。当日の案内係にしたがってください。
- (3) 我孫子駅北口より無料スクールバスを運行します。混雑が予想されますので時間には余裕を持って行動してください。運行ダイヤについては、本学ホームページにてご確認ください。
- (4) 受験票、筆記用具（HBの鉛筆等・消しゴム）を必ず持参してください。上履き等は必要ありません。
- (5) 受験票を忘れた場合は、総合案内へ申し出てください。
- (6) 試験開始後20分まで遅刻を認めます。ただし、筆記試験において、このための試験時間の延長は認めません。
- (7) 試験中の途中退室は原則として認めません。やむをえない場合は試験監督者の指示にしたがってください。
- (8) 学生食堂やコンビニエンスストアの営業は行いません。各自、必要に応じて昼食等の準備をしてください。
- (9) 受験者以外は試験室へ入室できません。
- (10) 試験室内における携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類の使用は禁止です。
＜時計としての使用不可＞

■ 受験時における宿泊先

本学では、宿泊施設等の斡旋は行っておりませんが、主な周辺宿泊施設をご案内しますので、ご参照ください。

ホテル名	最寄駅	電話番号	備考
柏 プラザホテル	柏	04-7147-1111	柏駅南口徒歩1分
ザ・クレストホテル 柏	柏	04-7146-1111	柏駅西口徒歩2分
ホテルマークワンアピコ	天王台	04-7186-1717	天王台駅北口徒歩1分
セントラルホテル取手	取手	0297-72-1123	取手駅東口徒歩2分

■ 学費等納入金

＜初年度納入金＞

（単位：円）

		新入生	2年次編入生	3年次編入生
入学金*		260,000	260,000	260,000
授業料		532,000	532,000	532,000
施設設備費		300,000	300,000	300,000
小計		1,092,000	1,092,000	1,092,000
代理徴収金	学生会費	入会金*	500	500
		年会費	3,000	3,000
	後援会費	入会金*	15,000	15,000
		年会費	15,000	15,000
	学友会費		10,000	20,000
	学生教育研究災害傷害保険料*		3,300	2,600
	学研災付帯賠償責任保険料*		1,360	1,020
小計		48,160	57,120	65,930
合計		1,140,160	1,149,120	1,157,930

※ 表中の*印は初年度のみの納入金です。

※ 上記の授業料は30%減免適用後の金額です（授業料年額760,000円 ⇒ 532,000円）。

※ 授業料減免は、学業・人物とも優れている留学生で経済的援助が必要な者に対して行います。

＜学費等納入時期について＞

学費等納入金の納入時期は下記のとおり年4回です。

	新入生	2年次編入生	3年次編入生	内訳
入学手続時	308,160 円	317,120 円	325,930 円	入学金・代理徴収金
4 月	300,000 円	300,000 円	300,000 円	施設設備費
8 月	380,000 円	380,000 円	380,000 円	前期授業料
12 月	152,000 円	152,000 円	152,000 円	後期授業料
合 計	1,140,160 円	1,149,120 円	1,157,930 円	初年度納入金

■ 外国人留学生奨学金制度

＜本学独自の奨学金制度＞

名 称	対 象	支給額
私費外国人留学生 特待生・奨学生 制度	私費外国人留学生で入学試験の成績が著しく優れている者（新入生）	入学金および授業料年額に相当する金額
	私費外国人留学生で入学試験の成績が優れている者（新入生）	授業料年額の50%に相当する金額
	私費外国人留学生で前年度の学業成績が優れている者（2～4年生）	年額 250,000 円
		年額 200,000 円
		年額 150,000 円
		年額 100,000 円
		年額 50,000 円

＜その他の奨学金制度＞

名 称	対 象	支給額
（財）小貫基金	私費外国人留学生で成績・人物共に優秀な者	月額 30,000 円
（公益信託）蓮見留学生育英奨学基金	私費外国人留学生で成績・人物共に優秀な者	月額 40,000 円
（財）ロータリー米山記念奨学会	私費外国人留学生で成績・人物共に優秀な者	月額 100,000 円

なお、採用実績のある奨学金制度としては、（公財）平和中島財団奨学金、（財）朝鮮奨学会等があります。

■ 個人情報の取扱い

出願を通じて収集した住所・氏名等の個人情報は厳重に管理し、入学に関する資料の送付や統計的集計および日本語教育施設等への確認にのみ利用いたします。

出願から入学手続までの流れ

ほんようこう かくにん うえ しゅつがんにゅうしゅくぶん がくぶ けつてい
本要項を確認の上、出願する入試区分・学部^{の決定}

P.7～

しゅつがんしよるい ひつようていしゅつしよるい かおじゃしん どう ようい
出願書類（必要提出書類や顔写真データ等）を用意

ほんがく しゅつがんせんよう
本学ホームページより出願専用サイトにアクセス、
マイページを作成後、出願情報を登録

P.5～

にゅうがくけんていりょう ふりこみ し がんかくにんひょう いんさつ
入学検定料を振込、「志願確認票」を印刷

し はん かくがた こうふうとう ようい あてな ちょうふ ていしゅつ
市販の角形2号封筒を用意し、「宛名ラベル」を貼付して提出
※出願期間内に郵送必着のためご注意ください
しゅつがんき かんない ゆうそうひつちやく ごちゅうい

じゅけんひょう いんさつ
受験票の印刷

じゅけん
受験

Web 合否発表
こう ひはつびょう

にゅうがくてつづき ひつようしよるい ゆうそう がくひ ふく にゅうがくてつづききん ふりこみ
入学手続（必要書類の郵送、学費を含む入学手続金の振込）

■出願方法(Web出願)

出願期間内であればいつでも出願は可能です(ただし、出願書類の提出締切日にはご注意ください)。

- (1) 事前準備
 - ・パソコン、スマートフォンなどインターネットにつながる環境およびプリンター
 - ・その他、必要書類の準備
 - ※ 選抜区分によって提出書類異なります。必ず各選抜区分のページを確認してください。
- (2) Web出願サイトへアクセス
 - ・各出願期間に本学ホームページよりWeb出願サイトへアクセスしてください。
 - ※Web出願は土日・祝日問わず24時間可能です。
 - ただし、出願期間最終日は15時までとなりますので、ご注意ください。
- (3) マイページの作成
 - ・顔写真データや個人情報など必要事項を入力し、マイページを作成します。
 - < 顔写真データ提出の注意事項 >
 - ※ 出願前3ヶ月以内に撮影したもので、正面、脱帽、背景は無地(白、青またはグレー)に限ります。
 - ※ 胸より上から頭まですべて入っている写真に限ります。
 - ※ 壁に近づきすぎると、影が濃く出て、輪郭が不明瞭になる恐れがあります。
 - ※ フラッシュを使用すると顔全体が白くなり過ぎ、陰影がなくなる場合があります。
 - ※ 個人が特定しづらいものは使用できません。
- (4) 出願する選抜方法を選択
 - ・出願期間中にマイページにログインし、選抜方法、志望学部等を登録してください。
- (5) 検定料の支払い
 - ・クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジーの3種類の支払い方法が選択できます。
- (6) 必要書類の印刷
 - ・マイページにログインし、『出願状況の確認』から「志願確認票」を印刷してください。
- (7) 書類を窓口にて提出
 - ・印刷した「志願確認票」とその他必要書類をあわせて選抜区分ごとに定められた出願期間内に窓口へ提出してください。
 - ・窓口受付の詳細はP.1をご確認ください。

■ 受験票の印刷

受験票の準備が整ったら、登録したメールアドレスに通知が届きます。Web出願サイトのログイン画面へ進み、マイページ内『出願状況の確認』から受験票をダウンロードし、印刷して試験当日必ず持参してください。

■ 合格発表

インターネット

発表当日10時より本学ホームページからWeb出願サイトのログイン画面へ進み、マイページ内『出願状況の確認』から可否の確認ができます。なお、可否に関して電話・本学窓口等による問い合わせには一切応じることはできません。

■ 入学手続

- < 入学手続についての注意事項 > ※手続きは必ず本人が行ってください。
- ・Web出願サイト内『出願状況の確認』から可否を確認し、案内に従って入学手続サイトに進んでください。
 - 必ず、指定の入学手続締切日までに入学手続を完了させてください。
 - (本学ホームページ>Web出願サイト>入学手続サイト ※入学手続は合格者のみ確認可能)
 - ・入学手続に関する詳細は、「入学手続の手引き」に記載します(入学手続サイトからダウンロード)。
 - ・入学手続は「入学手続納入金の納入」、「Webでの情報登録」、「入学手続書類の提出」により完了となります。
- (1) 入学手続書類について
 - ・入学手続締切日<郵送必着>までに、入学手続サイトから印刷した「宛名ラベル」を貼付した市販の角型2号封筒を使用し、書類を一括して速達・書留郵便で送付してください。
 - ・手続には経費支弁に関する書類が必要になります。

- (2) 入学手続時納入金について
・入学手続期間内に本学所定の振込用紙を使用し、最寄りの銀行窓口でお振込みください。
- (3) 入学手続期間について
・本要項P. 1にてご確認ください。

※入学手続期間内に手続未了の者は、入学の意志がないものとみなします。

※入学手続完了後に入学を辞退する場合は、令和8年3月31日(火)＜郵送必着＞までに所定の入学辞退届および入学許可書を提出してください。入学金を除くすべての納入金(授業料・施設設備費・代理徴収金)を返還いたします(指定校の場合、原則として代理徴収金のみを返還となります)。

1. 出願資格

次の①または②に該当する者。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- ② 上記①と同等以上の学力があると本学が認めた者で、18歳に達した者。

2. 出願要件

次の①および②を満たす者。

- ① 外国籍を有し、本学学生として在留資格『留学』を取得または更新できる者。
- ② 日本語能力試験(JLPT)N2レベル相当以上の日本語能力を有する者。

3. 出願書類および入学検定料 ※証明書類は原本を提出・提示すること(コピー不要)。

1	志願確認票	本学ホームページからWeb出願サイトで登録後、印刷。
2	出願確認シート	本学ホームページから書式をダウンロードして記入。
3	出身学校の「卒業証明書」 または「卒業見込証明書」	・外国語のものは、日本語訳を提出(書式自由、A4サイズ)。 ・卒業証明書の代わりに「卒業証書」を提示することも可能。 ・「卒業見込証明書」を提出した場合、後日卒業証明書の提出が必要。
4	出身学校の「成績証明書」	外国語のものは、日本語訳を提出(書式自由、A4サイズ)。
5	日本語教育施設等(日本語学校、大学別科等)の「出席・成績証明書」	・出席証明書は授業時数で記載されているものを提出。 ・日本語教育施設の既卒者は、現在在学している学校の「出席・成績証明書」を提出。
6	住民票	出願前3ヶ月以内に発行されたもので、在留資格および在留期間等が明記されているもの。
7	在留カード	原本を提示
8	パスポート	原本を提示
9	国民健康保険証等	原本を提示(社会保険加入者のみ)
10	出願要件② 日本語能力を証明する書類	日本語能力試験(JLPT)N2レベル相当以上の成績証明書等(上記が無い場合は、日本語学習履歴を証明する書類)
11	入学検定料	35,000円(2学部を併願する場合は45,000円)

※在留カード等、原本を提示する書類については本学にて必要部分をコピーします。

4. 試験日

12月13日(土)

※集合時間等は受験票に記載します。必ず受験票にてご確認ください。

5. 選抜方法

「日本語」、「面接審査」および「書類審査」を総合評価して合否判定を行います。

1. 出願資格

次の①または②に該当する者。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- ② 上記①と同等以上の学力があると本学が認めた者で、18歳に達した者。

2. 出願要件

次の①から③を満たす者。

- ① 外国籍を有し、本学学生として在留資格『留学』を取得または更新できる者。
- ② 日本語能力試験(JLPT)N2レベル相当以上の日本語能力を有する者。
- ③ 日本留学試験(EJU)を受験した者。

3. 出願書類および入学検定料 ※証明書類は原本を提出・提示すること(コピー不要)。

1	志願確認票	本学ホームページからWeb出願サイトで登録後、印刷。
2	出願確認シート	本学ホームページから書式をダウンロードして記入。
3	出身学校の「卒業証明書」 または「卒業見込証明書」	・外国語のものは、日本語訳を提出(書式自由、A4サイズ)。 ・卒業証明書の代わりに「卒業証書」を提示することも可能。 ・「卒業見込証明書」を提出した場合、後日卒業証明書も提出。
4	出身学校の「成績証明書」	外国語のものは、日本語訳を提出(書式自由、A4サイズ)。
5	日本語教育施設等(日本語学校、大学別科等)の「出席・成績証明書」	・出席証明書は授業時数で記載されているものを提出。 ・日本語教育施設の既卒者は、現在在学している学校の「出席・成績証明書」を提出。
6	住民票	出願前3ヶ月以内に発行されたもので、在留資格および在留期間等が明記されているもの。
7	在留カード	原本を提示
8	パスポート	原本を提示
9	国民健康保険証等	原本を提示(社会保険加入者のみ)
10	出願要件② 日本語能力を証明する書類	・日本語能力試験(JLPT)N2レベル相当以上の成績証明書等(上記が無い場合は、日本語学習履歴を証明する書類)
11	出願要件③ 「日本留学試験(EJU)成績に 関する証明書」	成績確認書を提出。
12	入学検定料	35,000円(2学部を併願する場合は45,000円)

※在留カード等、原本を提示する書類については本学にて必要部分をコピーします。

4. 試験日

2月14日(土)

※集合時間等は受験票に記載します。必ず受験票にてご確認ください。

5. 選抜方法

「面接審査」および「書類審査」を総合評価して合否判定を行います。

指定校【専願】

1. 出願資格

外国において学校教育における12年の課程を修了した者。またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。

2. 出願要件

各指定校に個別通知

3. 出願書類および入学検定料 ※**証明書類は原本を提出・提示すること(コピー不要)**。

1	志願確認票	本学ホームページからWeb出願サイトで登録後、印刷。
2	出願確認シート	本学ホームページから書式をダウンロードして記入。
3	出身学校の「卒業証明書」	・外国語のものは、日本語訳を提出(書式自由、A4サイズ)。 ・卒業証明書の代わりに「卒業証書」を提示することも可能。
4	出身学校の「成績証明書」	外国語のものは、日本語訳を提出(書式自由、A4サイズ)。
5	指定校の「出席・成績証明書」	出席証明書は授業時数で記載されているものを提出。
6	学校長の推薦書	指定校専用。
7	住民票	出願前3ヶ月以内に発行されたもので、在留資格および在留期間等が明記されているもの。
8	在留カード	原本を提示
9	パスポート	原本を提示
10	国民健康保険証等	原本を提示(社会保険加入者のみ)
11	日本語能力を証明する書類	日本語能力試験(JLPT)N2レベル相当以上の成績証明書等 (上記が無い場合は、日本語学習履歴を証明する書類)
12	入学検定料	35,000円

※在留カード等、原本を提示する書類については本学にて必要部分をコピーします。

4. 試験日

	試験日
1期	10月11日(土)
2期	12月13日(土)
3期	2月14日(土)

※集合時間等は受験票に記載します。必ず受験票にてご確認ください。

5. 選抜方法

「面接審査」および「書類審査」を総合評価して合否判定を行います。

1. 出願資格

つぎのいずれかに該当する者。

- ① 大学を卒業した者および2年次修了（見込み）の者（外国の場合は出願時に確認します）。
- ② 短期大学を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者（外国の場合は出願時に確認します）。
- ③ 日本の専修学校専門課程を修了した者および令和8年3月修了見込みの者。
（修業年限が2年以上であり、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であること）
※上記に該当する者は、課程が該当することを証明できる証明書も併せて提出してください。
- ④ 上記①～③と同等以上の学力があると本学が認めた者。

2. 出願要件

つぎの①および②を満たす者。

- ① 外国籍を有し、本学学生として在留資格『留学』を取得または更新できる者。
- ② 日本語能力試験（JLPT）N2 レベル相当以上の日本語能力を有する者。

3. 出願書類および入学検定料 ※証明書類は原本を提出・提示すること（コピー不要）。

1	志願確認票	本学ホームページからWeb出願サイトで登録後、印刷。
2	出願確認シート	本学ホームページから書式をダウンロードして記入。
3	大学・短期大学・専修学校専門課程の「卒業証明書」または「卒業見込証明書」	・外国語のものは、日本語訳を提出（書式自由、A4サイズ）。 ・卒業証明書の代わりに「卒業証書」を提示することも可能。 ・複数の学校を卒業（修了）した場合は全て提出。 ・大学2年次修了（見込み）の者は「修了（見込み）証明書」を提出。 ・「卒業見込証明書」を提出した場合、後日卒業証明書も提出。
4	大学・短期大学・専修学校専門課程の「成績証明書」	※単位数および履修時間数が記載されていないものは受付できません。 ・外国語のものは、日本語訳を提出（書式自由、A4サイズ）。 ・複数の学校の単位を認定されている場合は全て提出。 ・在学中の場合は当該年度の履修内容がわかる書類（履修証明書等）を提出。 ・出願時に日本語教育施設等に在学中の者は、日本語教育施設等の「出席・成績証明書」（授業時数で記載のもの）も併せて提出。
5	住民票	出願前3ヶ月以内に発行されたもので、在留資格および在留期間等が明記されているもの。
6	在留カード	原本を提示
7	パスポート	原本を提示
8	国民健康保険証等	原本を提示（社会保険加入者のみ）
9	出願要件② 日本語能力を証明する書類	日本語能力試験（JLPT）N2 レベル相当以上の成績証明書等 （上記が無い場合は、日本語学習履歴を証明する書類）
10	入学検定料	35,000 円

※在留カード等、原本を提示する書類については本学にて必要部分をコピーします。

4. 試験日

12月13日（土）

※集合時間等は受験票に記載します。必ず受験票にてご確認ください。

5. 選抜方法

「日本語」、「面接審査」および「書類審査」を総合評価して合否判定を行います。

教育理念

公正な社会観と倫理観の涵養をめざし、徹底した少数教育を通じて実力と創造力をそなえた有能な社会人を育成することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中央学院大学商学部は、大学建学の精神と大学・学部教育理念に基づいて、公正な社会観と倫理観をそなえた人材を育成する学部です。流通、サービス、情報通信、製造、金融などのさまざまな業界で活躍するビジネスパーソンや、教育や行政の分野で活躍する教員、公務員などを育成します。

本学部は、編入学などの例外的な場合を除いて、4年以上在籍し、以下の1～6の能力を身につけるとともに、所定の126単位以上を修得した者に対して、学士（商学）の学位を授与します。

1. 幅広い知識と教養: 公正な社会観と倫理観の基盤となる、人間・自然・文化に関する幅広い知識と教養を身につけている。
2. 専門的学識: 商学および関連領域の専門的知識と当該領域において求められる思考力を身につけている。
3. 問題発見力・解決力: 商学および関連領域の知見を用いて課題を見定め、必要な情報を収集し、整理・分析して解決してゆく能力を身につけている。
4. 多様性の理解とコミュニケーション能力: 多様な背景をもつ他者や異文化の理解に努め、コミュニケーションを通して他者との協働を進めていく能力や態度を身につけている。
5. 汎用的な能力: 情報通信技術をはじめとした多様な手段を用いて情報を収集・分析し、論理的な判断に基づいて効果的に活用することにより、現代社会のさまざまな課題に対応できる能力を身につけている。
6. 地域連携・社会貢献: 地域社会や参画するネットワークの一員としての責任や役割を認識し、商学および関連領域の知見を用いてそこに貢献する能力や態度を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

中央学院大学商学部は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力などの修得のため、以下のような体系的な教育課程を編成・実施します。

1. 教育課程の編成方針

- (1) 幅広い知識と教養: 幅広い知識と教養を養うために、人文・自然系列科目を設置します。特に学びの基本となる必修科目は第1学年に、選択科目は第1学年から第4学年まで適宜受講できるよう配置します。
- (2) 専門的学識: 商学および関連領域の専門的学識を養うために、商学系列科目を設置します。商学の基本に関わる科目は第1学年に配置し、商学の各領域に関わる科目は第2学年以降に、各コースの選択必修科目と自由選択科目として配置します。
- (3) 問題発見力・解決力: 問題発見力・解決力を養うために、演習形態の科目を設置します。第1学年に通年の必修科目を配置し、第2学年以降に通年の演習科目を配置します。
- (4) 多様性の理解とコミュニケーション能力: 多様性の理解とコミュニケーション能力を養うために、外国語科目、日本語科目、体育科目を設置します。外国語科目は第1学年と第2学年の必修科目として、日本語科目と体育科目は第1学年の必修科目として配置します。
- (5) 汎用的な能力: 情報通信技術を利用し、情報を適切に分析・発信できる能力を養うために、情報リテラシーや情報処理、AIやデータサイエンスに関する科目を設置します。
- (6) 地域連携・社会貢献: 地域連携・社会貢献の能力や態度を養うために、キャリアデザインやボランティアに関する科目を設置します。また、特に教員養成のために教職科目も設置します。

2. 教育課程の実施方針

授業形態は、講義や演習（ゼミナール）等を適切に組み合わせで実施します。グループワークやディスカッション、プレゼンテーションなどの活動を科目の特性に応じて盛り込むことによって、学生が主体的・能動的に学ぶことができるようにします。また、シラバスでは、アクティブ・ラーニングなどの授業形式や各回に求められる予習・復習の内容を示し、教室内外の取り組み方について説明します。学修成果の評価は、シラバスに明文化した方法に基づいて行います。各科目のシラバスでは到達目標や評価方法をあらかじめ示し、それらの基準に基づいて客観的に評価します。また、成績評価に関する問い合わせの期間を設け、評価の透明性を担保します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1. 求める入学者像

商学部は、本学の建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」のもとで、学部の教育の理念として、商学を基盤におき、現代社会の課題に主体的に取り組む意志をもつ、「実力と創造力をそなえた有能な社会人の育成」を目指します。

このような有能な社会人を育成するために、次のような入学者を求めます。

- (1) 基礎的学力と専門知識修得の意欲: 商学および関連領域の専門知識を身につけるために必要な「学力の3要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）の基礎を有し、それらの学問に関心をもって、それらの専門知識を修得したいという意欲がある。
- (2) 幅広い知識修得の意欲: 高等学校までの学修により、人文、自然、社会、言語、スポーツなど幅広い分野・領域に関心があり、それらをより深く理解したいという意欲がある。
- (3) 地域貢献・社会貢献の意欲: 幅広い知識と教養、商学および関連領域の専門的学識を身につけ、それらをもとに身近な地域から世界まで広く社会に貢献したいと考えている。

2. 入学者選抜の基本方針

商学部では、「1. 求める入学者像」に合致する入学者を選抜するために、次の入学者選抜を実施します。

- (1) 一般選抜
大学独自の学力試験、大学入学共通テストなどを中心とする選抜。
- (2) 学校推薦型選抜
書類審査、面接、小論文などを中心とする選抜。
- (3) 総合型選抜
書類審査、面接などを中心とする選抜。

教育理念

人権感覚の育成と共生意識の確立とをめざし、専門教育と人間教育のバランスのとれた全人教育を施すことにより、法的素養と良識とを備えた有能な社会人を育成することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中央学院大学法学部は、大学建学の精神と教育の理念に基づいて、法や政治・行政に関する専門的・体系的な研究・教育を通じて現代社会への理解を深めること、およびその学習成果を活かして、有能な公務員（国家公務員・自治体職員・警察官・消防官・教員など）をはじめとして社会の様々な分野で活躍できる人材を育成することを目的とする学部です。

本学部は、編入学などの例外的な場合を除いて、4年間以上在籍し、以下の1～6の能力などを身につけるとともに、所属するコースの卒業所要単位表に従って127単位以上を修得した者に対して、学士（法学）の学位を授与します。

1. 幅広い知識と教養：人間・自然・文化に関する幅広い知識と教養をもった市民として、自己管理能力や生涯学習への関心を含めて社会において幅広く活躍できる能力や態度を身につけている。
2. 専門的学識：法学部の専門科目（法学系科目、政治学・行政学系科目）および各コース独自の科目に関する専門的知識と論理的な思考力を有するとともに、バランスのとれた高い見識をもって社会で活躍できる能力を身につけている。
3. 問題発見力・解決力：法や政治・行政などに起因する社会の問題を発見し、必要な情報を収集し、整理・分析して解決してゆく能力を身につけている。
4. 多様性の理解とコミュニケーション能力：多様な背景をもつ人間や異文化を受け入れるとともに自らの考えを表現し、チームワークにおけるリーダーシップなど他者との協働を進めてゆく能力や態度を身につけている。また、適切な言語を使用して、多文化圏の人々とのコミュニケーションを図る能力を身につけている。
5. 汎用的な能力：情報通信技術をはじめとした多様な手段を用いて情報を収集・分析し、それらを論理的な判断に基づいて効果的に活用することにより、現代社会のさまざまな問題に対応できる能力を身につけている。
6. 地域連携・社会貢献：法や政治・行政などに関する専門的知識やバランスのとれた高い見識を活かしながら、社会や組織の一員としての責任や役割を認識し、人権感覚・共生意識をもって地域社会に貢献する能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

中央学院大学法学部は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力などの修得のため、以下のように体系的な教育課程を編成・実施します。

1. 教育課程の編成方針

中央学院大学法学部では、公務員をはじめとして社会の様々な分野で活躍できる人材を育成するため、5つのコースを設置しています。本学部の学生は、第1学年より下記5コースのうちのいずれかに所属し、そのコースの体系的な教育課程に沿って学びます。各コースは、法学部の基本的コンセプトと本学部の教育理念を共有した上で、それぞれ独自に、卒業後にふさわしい進路やそのための教育方針・教育体系を持ち、法学系科目や政治学・行政学系科目と各コース独自の必修科目・選択必修科目を組み合わせた特色あるカリキュラムを展開しています。

- ・司法コースは、裁判所事務官などの国家公務員や地方公務員などの育成を目指し、法的思考力を育む法学系科目により構成されるコース必修科目などを設置しています。
 - ・行政コースは、都道府県庁や市役所などの行政職員や警察官などの養成のため、法学系科目とともに、政治学・行政学系科目を学修するコース必修科目などを設置しています。
 - ・ビジネスキャリアコースは、企業法務で活躍できる人物、経営者の後継者、および起業家などの養成のため、企業法などを学修するコース必修科目などを設置しています。
 - ・フィールドスタディーズコースは、社会科系教員などの育成のため、法学・政治学系科目の他にフィールドワーク（実地調査）や非営利組織のあり方を学修するコース必修科目などを設置しています。
 - ・スポーツマネジメントコースは、スポーツの指導者や警察官、消防官などを養成するため、法学系科目やスポーツ行政などを学修するコース必修科目などを設置しています。
- (1) 幅広い知識と教養：教養系科目において、人間・自然・文化に関する幅広い知識と教養を身につけます。また、大学における学修の基礎を学ぶ第1学年の演習科目を必修とし、大学で学んでいく際に必要となるスキルや考え方、就職支援行事と連携した就職への意識付けのための自己分析の実施など、幅広い知識と教養を身につけます。
 - (2) 専門的学識：コース必修科目、コース選択必修科目、演習科目、および社会科学系科目を5コースごとに設置します。これらの科目において、法学部の専門科目（法学系科目、政治学・行政学系科目）および各コース独自の科目に関する専門的知識を学修するとともに、論理的思考力やバランスのとれた高い見識を養います。各コースとも、第1学年に基礎的な学修内容を学びます。第2学年以降は学年が上がるとともに、より専門的に学びを深めます。
 - (3) 問題発見力・解決力：コース必修科目、コース選択必修科目、演習科目、および社会科学系科目を5コースごとに設置し、これらの科目において、法や政治・行政などに起因する社会の問題を発見し解決する力を涵養します。
 - (4) 多様性の理解とコミュニケーション能力：演習科目、学部共通必修科目（日本語科目）、外国語科目、および体育科目において、多様性を理解し他者との協働を進めてゆく能力や態度を身につけるとともに、コミュニケーション能力を向上させます。学部共通必修科目（日本語科目）や体育科目は第1学年の必修科目などとして学びます。外国語科目は第1学年と第2学年の必修科目などとして学びます。
 - (5) 汎用的な能力：学部共通必修科目（日本語科目）、学部共通必修科目（情報処理科目）、およびAIやデータサイエンスに関する科目において、汎用的な能力を育みます。
 - (6) 地域連携・社会貢献：コース必修科目、コース選択必修科目、演習科目、および社会科学系科目を5コースごとに設置し、これらの科目において、地域連携・社会貢献の能力を身につけます。

2. 教育課程の実施方針

学修方法に関しては、講義や演習（ゼミナール）等を適切に組み合わせた授業形態を展開するとともに、模擬裁判など司法制度や法への理解を深める体験学習、政治・行政に関する問題解決型学習（PBL）、実地調査に基づくゼミ論文の作成など、学生が主体的・能動的に学ぶことができるようにします。

学修成果の評価方法は、シラバスのなかに具体的に記載しています。シラバスでは、科目ごとの到達目標や評価方法を示しており、あらかじめ定められた多様な評価方法を用いて、客観的な基準で成績評価を行います。

1. 求める入学者像

法学部は、本学の建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」のもとで、学部教育の理念として、「人権感覚の育成と共生意識の確立とを目指し、専門教育と人間教育のバランスのとれた全人教育を施すことにより、法的素養と良識とを備えた有能な社会人の育成」を目指します。このような有能な社会人を育成するために、次のような入学者を求めます。

（1）基礎的学力と専門知識修得の意欲

法学・政治学・行政学などの専門知識を身につけるために必要な「学力の3要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）の基礎を有し、それらの学問に関心をもって、それらの専門知識を修得したいという意欲がある。

（2）幅広い知識修得の意欲

高等学校までの学修により、人文、自然、社会、言語、スポーツなど幅広い分野・領域に関心があり、それらをより深く理解したいという意欲がある。

（3）地域貢献・社会貢献の意欲

幅広い知識と教養、法学・政治学・行政学などの専門的学識を身につけ、それらを基に身近な地域から世界まで広く社会に貢献したいと考えている。

2. 入学者選抜の基本方針

法学部では、「1. 求める入学者像」に合致する入学者を選抜するために、次の入学者選抜を実施します。

（1）一般選抜

大学独自の学力試験、大学入学共通テストなどを中心とする選抜。

（2）学校推薦型選抜

書類審査、面接、小論文などを中心とする選抜。

（3）総合型選抜

書類審査、面接などを中心とする選抜。

げんだいきょうようが くぶ げんだいきょうようが つか きょういくりねん 現代教養学部現代教養学科の教育理念と3つのポリシー

教育理念

公正な社会観と倫理観をそなえた自立した個人の育成をめざし、現代を生き抜くための教養教育を通じて、地域や社会、政治や経済との関わりの中にある自己を深く知り社会参画や社会貢献ができる市民を育成することを目的とする。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

中央学院大学現代教養学部は、大学建学の精神と大学・学部教育の理念に基づいて、公正な社会観と倫理観をそなえ、幅広い知識と教養を身につけ、学び得た知識や教養を柔軟に活用して、市民として活躍できる人材を育成することを目的とする学部です。本学部は、編入学などの例外的な場合を除いて、4年間以上在籍し、以下の1～6の能力などを身につけるとともに、「現代教養学部」の科目・配当表に従って124単位以上を修得した者に対して、学士（教養学）の学位を授与します。

1. 幅広い知識と教養：人間・自然・文化に関する幅広い知識と教養をもった市民として、学び得た知識や教養を柔軟に活用できる能力を身につけている。
2. 専門的学識：現代社会において生じている諸問題にアプローチする手段として、多岐にわたる専門的知識と思考力を身につけている。
3. 問題発見力・解決力：社会における自立した個人として、現代社会のあるべき姿を求め、社会との関わりの中で問題を発見し、情報収集・整理・分析を行うことができるとともに、解決方法を見出す力を身につけている。
4. 多様性の理解とコミュニケーション能力：現代社会の基底をなす多様な人間文化や異文化に対する理解を深め、他者との協調・協働が可能となるよう、メディア・コミュニケーションに対する理解とコミュニケーション能力を身につけている。
5. 汎用的な能力：現代社会において生じている諸問題の検討に際して、必要となる情報を適切に収集・分析でき、効果的な情報表現・発信する能力を身につけている。
6. 地域連携・社会貢献：現代社会における市民としての責任や役割を認識し、社会参画や社会貢献のための問題解決能力や専門知識・教養を活用できる能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

中央学院大学現代教養学部は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力や姿勢の修得のため、以下のような体系的な教育課程を編成・実施します。

1. 教育課程の編成方針

- (1) 幅広い知識と教養：高い専門性を身に着けるための専門教育科目の知的活動の土台となる幅広い知識と教養、論理的思考力および科学的思考力を養うために、基盤教育を設置します。特に学問の基礎を成す必修科目は第1学年および第2学年に、専門分野の基礎知識となる科目は第2学年以降に選択必修科目として配当します。
- (2) 専門的学識：専門教育を中心に身近な地域と積極的に関わる能力を高め、グローバルな視点から現代社会をとらえる能力、他者と協調・協働できるコミュニケーション能力を養うために、専門教育を設置します。専門教育は、基盤教育と専門教育の橋渡しとなる「専門基礎」と「現代社会と人間文化系」、「異文化とコミュニケーション系」という2系列4科目群からなる教育課程を編成し、第2学年以降に選択必修科目として配当し、専門性の高い知的活動によって、知の枠組みを自ら構築します。
- (3) 問題発見力・解決力：問題発見能力・解決力を養うために、問題解決型の実践的教育である演習形態のゼミナール科目を設置します。ゼミナール科目は、第1学年から第4学年まで全ての学年で通年の必修科目として配当し、学年が上がるとともににより専門的な学びを深めます。
- (4) 多様性の理解とコミュニケーション能力：多様性の理解とコミュニケーション能力を養うために、導入教育（私たちの生活とコミュニケーション、日本語科目）、言語スキル科目、健康スキル科目を設置します。導入教育および言語スキル科目のうち英語基礎科目は第1学年と第2学年の必修科目として、英語上級科目は第2学年以降の選択必修科目として、英語以外の言語スキル科目および健康スキル科目は第1学年以降の選択必修科目として配当します。
- (5) 汎用的な能力：情報通信技術を利用し、情報を適切に分析・発信・表現できる能力を養うために、導入教育（日本語科目）、情報スキル科目および自然の理解科目に数理・データサイエンス・AIに関する科目を設置します。情報スキル科目の基礎科目（情報リテラシー、情報処理論の基礎）は、第1学年の必修科目として配当し、情報スキル科目の応用科目（情報処理論、情報表現論）は第2学年から選択科目として、数理・データサイエンス・AIに関する科目は、第1学年から学べる選択必修科目として配当します。また、日本語による論理的思考力、口頭表現力、文章表現力を身につける科目を第1学年および第2学年の必修科目として配当します。
- (6) 地域連携・社会貢献：現代社会における市民としての責任や役割を認識し、社会参画や社会貢献のための問題解決能力や多岐にわたる知識・教養を活用できる能力を養うために、基盤教育、専門教育およびゼミナール科目を設置します。

2. 教育課程の実施方針

学修方法に関しては、講義や演習（ゼミナール）等を適切に組み合わせた授業形態を展開するとともに、現代社会の現状とその背景を深く理解するための外部講師を招いた特別講義、異文化を理解するための現地体験学習、ボランティア実習および実地調査等に基づく卒業論文・卒業研究の作成など、学生が主体的・能動的に学ぶことができるようにします。

学修成果の評価方法は、シラバスに具体的に記載しています。シラバスでは、科目ごとの到達目標や評価方法が示されており、あらかじめ定められた多様な評価方法を用いて、客観的な基準で成績評価を行います。また、成績評価に関する問い合わせの期間を設け、評価の透明性を担保します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1. 求める入学者像

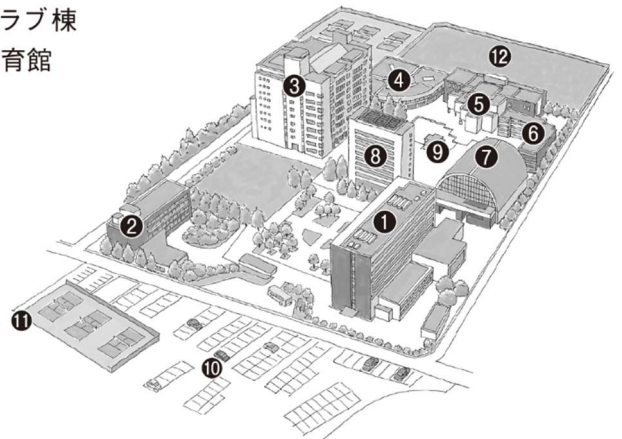
現代教養学部は、本学の建学の精神である「公正な社会観と倫理観の涵養」のもとで、学部の教育理念としての「自立した個人が自己を深く知り、社会参画や社会貢献ができる市民の育成」を目指します。

このような有能な社会人を育成するために、次のような入学者を求めます。

- (1) 基礎的学力と専門知識修得の意欲：一人の市民としてどのような仕事にも通じる幅広い教養を身につけたいという意志をもち、現代社会において市民として活躍するために必要な「学力の3要素」（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）の基礎を有し、それらの学問に関心をもって、それらの専門知識を修得したいという意欲がある。
- (2) 幅広い知識修得の意欲：高等学校までの学修により、人文、自然、社会、言語、スポーツなど幅広い分野・領域に関心があり、それらをより深く理解したいという意欲がある。
- (3) 地域貢献・社会貢献の意欲：幅広い知識と教養、現代社会に生じうるさまざまな課題に関する専門的学識を身につけ、それらを基に身近な地域から世界まで広く社会に貢献したいと考えている。

現代教養学部では、「1. 求める入学者像」に合致する入学者を選抜するために、次の入学者選抜を実施します。

- # ACCESS MAP



 **中央学院大学**
Chuo Gakuin University

CHUO GAKUIN UNIVERSITY 2026